

中ノ郷地区

# 地域コミュニティ計画

2009



中ノ郷ふるさとづくり協議会

# 2009. 地域コミュニティ計画

## (1) 地域の現状や課題

中ノ郷地区は、鳥取市街地の北側にあつて背後には歴史と伝説に包まれた摩尼寺や羽柴秀吉の鳥取城攻めの舞台となつた久松山・雁金山がある。また、カモやガンなど渡り鳥が飛来する八幡池、ホタルが乱舞する清流摩尼川や円護寺川があり、豊かな自然に恵まれた山紫水明、風光明媚な地域である。

中ノ郷地区は奈良時代から1300年にわたる歴史を受け継いでいる覚寺集落、円護寺集落と1980年代後半から急速に開発が進んだニュータウン等を包含した地区であり、1995年に新生“中ノ郷”として誕生した。誕生して15年目を迎えた現在では、地区内に小児科・内科・歯科・産婦人科などのクリニックや老人保健施設、郵便局、美容室、マーケット、軽食喫茶店等々が開設され、“暮らしやすいまち”としての機能が整ってきている。

しかし、古くからの覚寺集落、円護寺集落は合わせて約140戸と中ノ郷地区全戸数の13%弱であり、住宅団地に新しく住居を構えた戸数は1,000戸を超えている。そのような状況から、住民の連帯意識を強める必要があり、次代を担う青少年を中核とした世代間交流を推進し、活気ある地域づくりを進めることは喫緊の課題である。

地域づくりの目標として「**中ノ郷地区をどのようなまちにしていきたいと思いますか**」の住民アンケートには、下記のような意見が寄せられている。

- ・老若男女みんなが協力し、地域の人たちのつながりを大切にするまち
- ・安心、癒し、潤いのあるまち
- ・子どもから大人まで、ふれあうことのできるまち
- ・人が輝き、夢や希望のもてるまち
- ・子どもがのびのび成長していける環境のまち
- ・誰もが誇りに思える活気のあるまち
- ・防災関係(広い意味で)を強化し、住みよいまち
- ・住みやすく、夢や生きがいのもてるまち
- ・楽しい会話が限りなく広がるすてきなまち
- ・子どもから大人までコミュニケーションがとれるまち
- ・安全で安心して快適な生活ができるまち
- ・都市機能と自然の調和がとれたまち
- ・伝統行事を活かし、スポーツ振興のまち

- ・年齢性別に関係なく参加できる行事を大切にするまち
- ・活力のあるまち、活気のあるまち
- ・団塊の世代が中核となって発展するまち
- ・仲良くつながりのあるまち
- ・挨拶が交わせるまち

これらのアンケートから、「安心」「活気」「つながり」「誇り」「輝き」を目標のキーワードとすることができる。

また、「そのために、何が課題であると考えていますか」のアンケートには、

- ・中ノ郷地区は新旧の住民の一体化が課題であり、青少年を中心とした伝統文化の継承や地区の四大事業を充実させる活動が重要である。
- ・地域との関わりが希薄になっている「中学・高校生世代とその家族」の地域参加を図っていくことが、地域全体でまちづくりを進めていくための課題である。
- ・新たなことを考えていくことも大切ではあるが、これまで地区が取り組んできた内容を継承し、継続していくこととするのがよい。
- ・芸能に限らず、地域の伝統文化を育むまちづくりを進めていきたい。
- ・世代間交流を進める必要がある。
- ・自主防災会の活動を充実させる必要がある。
- ・地域の歩道周辺に花の咲く潤いのあるまちづくりに取り組みたい。(アジサイ通、コスモス通)
- ・四大事業(特に納涼祭)の推進に充実・改善と継続性を図るべきだ。(実行委員組織の見直し)
- ・少子高齢化の時代にあっては、「安全・安心のまちづくり」が住みよい地域づくりにつながる。
- ・高校生、大学生など若い世代のアイデア、エネルギーをまちづくりに活かしたい。
- ・自治会が強力なリーダーシップをとらない限り“まちづくり”は期待できない。
- ・各町内会長(区長)の任期を2年以上にすべきだ。(1年交代では何もできない)
- ・高齢者だけで生活する世帯が多いので、安心して暮らせる地域にしてほしい。
- ・自治会の事業はマンネリ化していないか。見直し・改善は不可欠である。
- ・市や自治会に何をしてもらおうかではなく、自分に何ができるかを考えるべきだ。
- ・元気な高齢者のパワーをまちづくりに活かすことを考えてほしい。
- ・高齢者サポートの組織づくりの取り組みが必要である。

などがあり、課題のキーワードとして、「連帯」「伝統文化」「安全・安心」「継続・発展」「世代交流」を挙げることができる。



中ノ郷ふるさとづくり協議会 設立総会  
H21, 1, 22,

## (2) 地域づくりの目標

中ノ郷地区の優れた文化、歴史、自然に触れる交流体験は、地域に誇りを持つことになり、この地に住んでよかった、いつまでもこの地域に住み続けたいという夢が膨らんでくる。例え、進学・就職でこの地を離れたとしても、また時代が変わったとしても、この地で育った人々の“ふるさと”であり続けてほしい。このようなふるさとづくりを志向して **地域に誇りを持ち、人が輝く活気あふれるまち** を地域づくりの目標とした。

また、その地域づくりの柱となる**具体目標**として、次の3点を設定した。

### ① 伝統文化の継承・発展・創造

中ノ郷地区には、「麒麟獅子舞」「さいとりさし」などの伝統芸能や、古くから伝承されている郷土料理、伝統行事などがある。しかし、地域の現状をみると、住民の大半は地域の伝統文化に触れる機会がなく、伝統文化に関する知識や関心も低い。住民が地域の伝統文化に触れることを通して地域への誇りや愛着心を育み、新しい伝統文化を創造し、活気に満ち溢れた地域づくりにつなげようとするものである。中ノ郷地区に伝承されている伝統文化の継承と発展をめざした交流活動を、地域づくりの大きな柱とする。

### ② 健康・安全・福祉の充実

中ノ郷地区には、65歳以上の高齢者だけで生活している世帯が少なくない。そのため、住民相互の連帯・連携を図るとともに、高齢者の健康増進、共助システムの組織化など目配り・気配りのある優しい地域づくりを進めていく必要がある。また、子ども、高齢者、障がいのある人など社会的弱者といわれる人はもとより、全ての住民が安全で安心して生活できる環境づくりは、活力ある地域づくりに不可欠の要素である。

### ③ 世代間交流の推進

住民の連帯感を高めるには、住民相互のふれあいが必要であり、特定の年齢層だけの交流に留まらず、年齢・性別を超えた異世代交流の場を意図的・計画的に設けることが求められる。異世代交流によって、子どもたちは高齢者から貴重な知恵をもらい、高齢

者は子どもたちから若いエネルギーをもらうという相乗効果が期待でき、活力ある地域づくりの柱とする。

### (3) 目標を実現するためのコミュニティ活性化策

目標とする「地域に誇りをもち、人が輝く活気あふれるまち」を実現するため、「中ノ郷ふるさとづくり協議会（以下「協議会」という）」に、上記の具体目標に係わる専門部会を設置し、それぞれの部会（または主管団体）で、具体的な活性化計画案を作成する。

- ① **総務広報部会**（協議会の事業の総括及び住民への広報に係わる事業の推進）
- ② **伝統文化部会**（伝統文化の継承・発展・創造に係わる事業の企画・推進等）
- ③ **防災福祉部会**（住民の健康・福祉・防災に係わる事業の企画・推進等）
- ④ **世代交流部会**（世代間交流に係わる事業の企画、推進等）

専門部会等で立案された活性化計画案は、役員で構成される協議会常任委員会の承認を得て実行委員会が組織され、実施に移されることになる。

活性化計画案に地域住民の幅広い意見・アイデアが取り入れられるようにするため、専門部会委員は各種団体代表者だけでなく、20～30歳代の若い人や経験豊かな団塊世代の方々にも協議会会長推薦の委員として参画する。また、協議会委員は上記専門部会のいずれかに所属し参画するとともに、実行委員として運営に携わるものとする。

#### ① 伝統文化の継承・発展・創造

地域に伝承されている芸能には、①麒麟獅子舞、②さいとりさし、③銭太鼓、④中ノ郷音頭などがあり、毎年、それぞれの継承活動別に会員を募集する。現在、①と②は小中学生、③は小学生、④は大人が会員として登録し、継続して活動している。

継承活動の成果を発表する機会として、地域で開催する各種イベントに出演するほか、「日本のまつり2009鳥取」をはじめ、市や県が企画するイベントにも参加する。

#### ○ 中ノ郷音頭・しゃんしゃん傘踊り体験（地区納涼祭）

目的：地域で継承している伝統芸能を体験する場を設け、継承の輪を広げる。

期 日：8月1日(土) 18:00~20:00

会 場：中ノ郷小学校グラウンド・体育館及び駐車場

参 加：中ノ郷音頭体験希望者(幼児~大人)、しゃんしゃん傘踊り参加希望者(小中学生)

伝統文化の体験・継承として「中ノ郷音頭」と「しゃんしゃん傘踊り」を取り上げる。

踊りに関心が低い小中学生を始め、若い年齢層にも継承活動に参加していただくため、若年層向けの新しい振り付けを『チーム満天星(どうだんつつじ)』に依頼し、より多くの住民が「中ノ郷音頭」の継承活動に取り組む体制を作る。7月に「中ノ郷音頭 part2」の振り付けを習い、8月の地区納涼祭で披露する。納涼祭では、多数の老若男女に「中ノ郷音頭」の魅力を体験していただくよう計画する。また、「鳥取しゃんしゃん祭り」参加予定者及び体験希望者による「しゃんしゃん傘踊り」の体験練習も併せて実施する。

#### ○ **しゃんしゃん傘踊り (鳥取しゃんしゃん祭)**

目 的：「鳥取しゃんしゃん祭」に参加し、しゃんしゃん傘踊りを披露する。

期 日：8月8日(土) 18:30~21:00

場 所：若桜街道、智頭街道他

参 加：地区在住の小中学生約80名及び引率ボランティア(大人)約20名

例年実施されている「鳥取しゃんしゃん祭」に、『中ノ郷連』として参加する。小学校5年以上及び中学生の男女80名程度の参加者を公募する。7月より週2回、練習を開始し、地区有志が指導に当たる。傘の張替え・修理は、地区高年クラブ(老人クラブ)及び子ども会指導者連絡協議会(地子連)有志が担当する。

#### ○ **伝統芸能交流発表会 (中ノ郷まつり)**

目 的：伝統芸能の披露及び伝統芸能の継承に成果を挙げている他地区団体との交流。

期 日：10月25日(日) 9:00~14:00

会 場：中ノ郷小学校体育館

参 加：伝統芸能の継承に取り組んでいる地区内の団体及び地区外の招聘団体

中ノ郷まつりには、地域の伝統芸能として、麒麟獅子舞、さいとりさし、中ノ郷音頭、

銭太鼓、大正琴、桜太鼓、コーラスなどの披露を予定する。

また、県内各地で伝統文化の継承に努力し成果を挙げている団体を招聘し、継承されているそれぞれの伝統文化の素晴らしさを体験・交流する機会としたい。今年の招聘団体として、因幡文楽水口人形芝居保存会、米里だるま踊り保存会、河原皿回し同好会などを予定する。これら招聘団体との交流を通して、地域住民の伝統文化に対する意識の高揚を図る。

### ○子ども御輿パレード

目的：御輿を担ぐ伝統行事の見学や体験を通して、伝統行事に対する住民の関心を高める。

期日：11月23日(月) 10:30~11:30

会場：中ノ郷小学校グラウンド

参加：地区在住の小中学生約30名及び招聘団体の「倉吉女御輿」

威勢のよさが魅力の「倉吉女御輿(みこし)」を招聘し、「子ども御輿」との共演を企画する。子ども御輿の担ぎ手として小学生(男女)30名程度の参加者を公募する。お祭り体験のない当地域の子どもたちには、伝統文化・伝統行事を体験できる貴重な機会であり、積極的な参加を呼びかける。御輿パレードの後、グラウンドで麒麟獅子舞を披露する。

### ○老人福祉施設訪問

目的：近隣老人福祉施設で伝統芸能を披露し、入所者との交流を深める。

期日：年間5回程度

会場：いなば幸朋苑、新しいなば幸朋苑、ウェルフェア北園渡辺病院、グループホーム、

参加：中ノ郷ふるさとクラブ(小中学生約30名)、ふるさと喜楽会(大人約20名)

中ノ郷地区及びその周辺には、いくつかの老人福祉施設がある。それらの施設を訪問し、伝統文化の継承活動に取り組んできた成果(麒麟獅子舞、銭太鼓、中ノ郷音頭など)の披露を通して施設入所者と交流し、生きる喜びを共有する。

## ② 健康・安全・福祉の充実

### ○ 子ども見守り活動

目 的：登下校時に路上や遊び場を見守り、子どもの安全確保を図る。

期 日：4月より、原則として児童生徒の登校日

場 所：子どもの通学路（町内の遊園地を含む）

参 加：スクールガードボランティア登録者

中ノ郷子ども見守り隊に登録したボランティアが、都合のつく時間帯に自宅周辺や散歩中に、子どもが安全に登校または下校できるよう見守る。

### ○ ふれあいウォーキング

目 的：地域住民の健康増進を図ると共に、地域の魅力を探訪する。

期 日：毎月第2土曜日、第4水曜日（4月より実施）

場 所：中ノ郷地区及びその周辺

参 加：参加を希望する地域住民

健康増進を図る新規事業として、毎月2回の定例ふれあいウォーキングを計画・実施する。会員制ではなく、毎回自由参加とし、人数制限も設けない。雨天時・荒天時は、公民館で健康体操を実施する。実施回数を重ねる中で、健康増進と参加者相互の交流・親睦を深める。また、ウォーキングを通して地域の魅力を再発見していきたい。

### ○ ふれあいグラウンドゴルフ

目 的：高齢者の健康増進と親睦を図る。

期 日：年間10回（4月より実施）

会 場：中ノ郷小学校グラウンド

参 加：地域在住の高齢者(各回とも7～80名を予定)

高齢者の健康増進と親睦を図る事業として、毎月第1土曜日に開催する。開催の準備等は各町老人クラブが順番で担当する。優勝者には持ち回りの優勝カップを授与する。



## ○ 高齢者との交流（地区敬老会）

目的：地域づくりに貢献された高齢者への感謝と地域の伝統芸能の披露。

期日：9月13日（日）10：00～13：00

会場：中ノ郷小学校体育館

参加：伝統芸能の継承に取り組んでいる団体（小中学生及び大人）

地区在住の75歳以上の招待高齢者に地域で継承されている麒麟獅子舞、さいとりさし、銭太鼓、中ノ郷音頭などの伝統芸能をじっくり鑑賞していただく。また、小学生と高齢者の交流事業で植えた花の鉢植えに手紙を添付して出席者に贈呈し、交流を深める。

## ○ 地区防災訓練

目的：安全で安心なまちづくりを目指して、非常時に備える防災訓練を行う。

期日：10月18日（日）10：00～13：00

会場：中ノ郷小学校グラウンド、中ノ郷地区公民館

対象：地域住民（幼児から高齢者）

「災害に時なし、場所なし、予告なし」といわれるように、いつ・どこで・どんな災害に遭遇するかわからない。これまで一部町内会で放水訓練・消火体験など実施されてきたが、中ノ郷地区で災害が発生した場合への対応訓練として、起震車による地震体験のほか、避難場所への誘導、高齢者世帯への声かけ（確認）、初期消火訓練、応急処置訓練、救助、炊き出し等を含めた総合的な地区防災訓練を実施する。この防災訓練を自助

・共助の意識高揚につなぎ、

安全で安心なまちづくりに

活かしたい。



まちづくり講演会 H20, 8, 30,

### ③ 世代間交流の推進

#### ○ 地区大運動会

目的：幼児から高齢者まで地区住民が集い、運動を通して世代間交流を図る。

期日：5月24日(日) 9:00~15:30

会場：中ノ郷小学校グラウンド

対象：地区住民

児童の個人競走、団体演技、町区別対抗種目などを通して、地区住民の交流を深める。特に、各町内会で長期にわたって準備を進めてきた仮装大賞、小中高校生・年代別参加者で構成される町区別対抗リレーは、会場が笑いと応援で盛り上がる種目となる。

#### ○ ふれあい肝試し（地区納涼祭）

目的：肝試しを通して、住民の交流を深める。

期日：8月1日(土) 19:00~20:30

会場：中ノ郷小学校体育館

企画運営：わくわく実行委員会（小中学生で構成）

小中学生のアイデアをもとにイベントを企画し、異世代交流の場とする。

#### ○ 12時間ソフトボール大会

目的：多世代の住民がソフトボールを通して交流し、相互の親睦を図る。

期日：8月30日(日) 6:00~18:00

会場：中ノ郷小学校グラウンド

参加：小学生~高齢者までの参加希望者

24時間テレビ「愛は地球を救う」の協賛イベントとして開催する。小学生・中学生・高校生及び高齢者までの多世代交流ソフトボール大会とし、参加時間帯は参加者の自由意思とする。

#### ○ ライブステージ（中ノ郷まつり）

目的：中・高校生等によるステージ演奏を通して、住民との交流を図る。

期 日：10月24日（土）13：30～

会 場：中ノ郷小学校中庭 野外ステージ

参 加：中学生、高校生有志

中ノ郷まつりの協賛出演として、若い世代が地区事業に参画する機運を盛り上げたい。

#### ○ ふれあい収穫祭(食事パーティ)

目 的：地元で獲れた食材を使って食事パーティを実施し、ふれあいを深める。

期 日：11月23日（月）11：30～13：30

会 場：中ノ郷地区公民館

対 象：子ども御輿パレード参加者及び地域住民

中ノ郷ファームクラブ（小学生及びその保護者で構成）と、ふるさと喜楽会の会員で、地域の農地を借用して野菜栽培に取り組んでいるが、そこで収穫した野菜や地元で獲れた魚・肉などの食材を使ってふれあい収穫祭(食事パーティ)を実施する。

子ども御輿パレード終了後、パレード参加者や応援隊を含め参加を希望する300人規模の食事パーティを計画し世代間交流を深める。食事の準備は、ふるさと喜楽会会員及びボランティアに協力を依頼する。

### （4）期待できる効果

地域コミュニティ計画は、地域づくりのスタートであり、計画した事業が継続されることによって目標の「人が輝く活気あふれるまち」が実現するものと確信している。

地域コミュニティ計画が実施されることによって、この地域が心の通う“ふるさと”となり、次のような効果が期待できる。

- ① コミュニティ活動を通して、子どもに夢を高齢者に生き甲斐を広げることができる。
- ② 中ノ郷地区の魅力を再認識し、地域に誇りと愛着心を持って住むことができる。
- ③ 伝統文化に関心を持ち、地域活動に積極的に参加しようとする意識を高めることができる。

- ④ 住民相互の交流が深まり、笑顔と会話が弾む明るいまちにすることができる。
- ⑤ 世代を超えて住民の連帯意識が高まり、安全で安心なまちにすることができる。
- ⑥ 小・中・高校生など若い人が地域のイベントに参画し、まちづくりに新しい息吹を取り入れることができる。

## (5) 地域コミュニティ計画の評価・改善

地域コミュニティ計画が実施・終了した時点で事業に関する評価を行い、次年度以降の事業計画の改善に反映させる。評価の方法として、①専門部会での評価、②住民アンケートを実施する。評価結果及び反省点等の情報は、協議会広報紙『ほたる』に掲載し、地域住民に周知する。



協議会広報紙『ほたる』H21, 7, 1, 発行

中ノ郷地区 **地域コミュニティ計画**

作成日：2009年7月27日

作成：中ノ郷地区ふるさとづくり協議会

事務局：鳥取市覚寺118

中ノ郷地区公民館内

電話 (0857) 21-5393